

報 告 事 項 1

平成24年5月議会の概要について

平成24年6月15日

平成24年5月議会 主な項目の概要について

項目	質問の骨子	答弁の骨子
大阪の教育	【一般 維新徳村G 5月23日】 *子どもたちに将来、どのような人に育ってほしいと考えているのか。そのために、どのような教育が必要であるか、見解を伺う。	【教育長】 生きる力を身に付け、社会を支える大人になってほしい。そのため、家族や友人等とのかかわりの中で、働くことへの価値観や周囲への思いやりなどを身につけられる教育を行いたい。
	【一般 公明谷川G 5月24日】 *これからの大阪の教育をいかに良くさせていくのか、決意を伺う。	【知事】 大阪の子どもたちを取り巻く環境が一層厳しくなる中、しっかりと生き抜いていける自立した大人を育てる教育ができるよう、教育現場を変えていきたい。
校長の権限強化	【一般 維新土井G 5月24日】 *校長が各教員の勤勉手当の決定に関与できるような制度にすべきと考えるが、見解を伺う。	【知事】 現在、府教委において、勤勉手当の決定について、校長の意向をどう反映させることができるのか、検討しているところ。 【教育長】 現行法制度上、個々の教員の勤勉手当の決定を校長の自由裁量に委ねたり白紙委任することはできないが、校長の関与について、どういった仕組みが可能であるか、検討したい。
指導不適切教員	【一般 公明谷川G 5月24日】 *府立学校条例・教育行政基本条例が制定されたが、今後、指導が不適切な教員に、どの様に取り組みを強化していくのか。	【教育長】 指導が不適切な教員の新たな判断基準策定に加え、府立学校において授業アンケートなどによる生徒の意見や学校協議会を通じた保護者の意見を反映する仕組みを導入する。
	*指導が不適切な教員が再び現場に戻るための研修の内容充実について、新たに考えていることを伺う。	指導改善研修において、「対人関係上の課題」がある者について、今年度より臨床心理士のアドバイスを参考に、効果的な研修を実施するシステムをスタートさせたところ。
	*研修によっても改善の見込みがない教員に対して、どのような対策を講じるのか、伺う。	「教員の資質に関する諮問委員会」の意見を聞いた上で、子どもの学習をしっかりと保障し、保護者・府民の教育に対する信頼に応える観点から、分限免職を含め、厳格に対応する。
学校協議会	【一般 公明谷川G 5月24日】 *府立学校条例に定める学校協議会の今後の運営について伺う。	【教育長】 今後、校長が委員候補の選定を行った上で、6月に府教育委員会に具申を行い、委員の審査、任命作業などを経て、8月には学校協議会が発足を予定する。
支援学校	【一般 公明後藤G 5月23日】 *小中学校や高等学校などとの交流や実践・ノウハウの共有等を通じ、互いの成長を促すことが重要と考えるが、見解を伺う。	【教育長】 「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる充実に向け、今後とも、支援学校と地域の学校が連携し、障がいのある子どもたちが、地域で暮らしていけるよう大阪らしい支援教育を推進する。
	*府立知的障がい支援学校の就労状況と就労への取組みについて伺う。	平成23年度就職率は24.3%で、3.1ポイント上昇。今後府内3地域での、たまがわ高等支援学校同様の高等支援学校開校や知的障がい支援学校高等部への職業コース設置を行う。
キャリア教育	【一般 維新池下G 5月23日】 *実践的キャリア教育・職業教育支援事業の成果について伺う。	【教育長】 平成24年3月の卒業生の府内全高校の就職内定率が90.5%で、昨年から2.6ポイントの上昇に対し、本事業の推進校では5.0ポイント上昇し、91.7%。

平成24年5月議会 主な項目の概要について

項目	質問の骨子	答弁の骨子
教育環境の整備	【一般 共産曾呂利G 5月24日】 * 定数内講師の正規雇用を進めるべきと考えるが、見解を伺う。	【知事】 教員採用については、教育委員会において、退職者数、児童・生徒数等の動向を踏まえつつ、教員として資質を見極めた上で、毎年度、最大限の確保に努めている。
	【一般 共産曾呂利G 5月24日】 * 35人以下学級を小学校3年生、中学校1年生に拡大すべきと考えるが、見解を伺う。	【知事】 大きな財政負担が伴うことから、限られた財源をどこに優先して使うのか、教育条件の整備をめざした効果的な施策のあり方について教育委員会と議論する。
体育の事故への対応	【一般 民主柴谷G 5月24日】 * 学校の体育活動中の事故に関し、学校における安全・安心についての基本認識を伺う。	【知事】 子どもたちが安全で安心して学習活動等に励むことができる環境を整備することが第一、学校はもちろん、通学路も含めて、安全・安心の確保にしっかり取り組んでいきたい。
	* 学校や教員の故意又は過失による負傷について、リスクや負担を生徒や家族に負わせるべきではないと考えるが、見解を伺う。	【教育長】 事故の原因の精査、学校や教員の負うべき責任割合等を考慮した上で、事故にあった児童・生徒や保護者の思いをしっかりと受け止め、負担が減らせられるよう、努力したい。
	* 学校管理下で教員の故意又は過失による負傷について、市町村に個別案件ごとに丁寧に対応するよう指針を示すべきと考えるが、見解を伺う。	今後とも事故防止対策の充実に取り組むとともに、事故発生の際には市町村教委からの相談に対し、必要に応じ、情報提供や助言等を行うなど、適切な支援を行ってまいりたい。
通学路の安全	【一般 公明谷川G 5月24日】 * 通学路の安全対策は、警察の対策に加え、学校の取組みも重要。府教委の取組について伺う。	【教育長】 今回の事故を踏まえ、各市町村教委に対し、改めて、通学路の安全点検や安全確保を図るよう通知。今後とも、警察や道路管理者など関係機関と連携しながら、安全確保に努める。
耐震化	【一般 自民しかたG 5月23日】 * 「平成26年度までに耐震化率100%」が本当に達成できるのか伺う。	【教育長】 耐震改修工事は、夏休みに集中的に行うため、施設構造上の問題等から工事内容が複雑かつ大規模となる2校は、耐震化工事を26年度末までに完了させることは厳しい。
	* 平成26年度に耐震化完了が難しい成城高校について、今後どのように進めていこうとしているのか伺う。	仮設校舎の建設も含めて様々な方策を検討し、26年度末において生徒・教職員の安全を確保できるよう、取り組む。
エレベーター	【一般 自民しかたG 5月23日】 * 府立学校におけるエレベーターの設置状況と今後の見通しについて伺う。	【教育長】 平成23年度末現在、全138校中79校で設置。設置は、生徒が学校生活を送る上で、エレベーター設置等の配慮を要する学校を優先し、施設の状況を勘案し整備している。
生徒表彰	【一般 維新徳村G 5月23日】 * 学校外の人も多く集まる卒業式で生徒の努力や成果の表彰が必要ではないか、見解を伺う。	【教育長】 多くの人の前で生徒のがんばりを褒めることは生徒をはぐくむ上で大切。各学校における表彰の方法については、今後もより一層効果的なものとなるよう各学校で工夫いただきたい。